

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 1日

事業所名 サニーキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		感染症対策のため、机を1人1台使用しています。活動内容に応じて活動室を区別しています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		基準に基づき職員を配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		危険箇所にはコーナーガードを設置するなど、安全で過ごしやすい環境に留意しています。子どもさんの実態や状況に応じてエレベーターを使用しています。	玄関の照明の暗さが課題をなりましたが、令和4年11月に電灯を増やし、足元や荷物が分かりやすいようになりました。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に職員より課題や意見を集め、朝礼やケース会議の中で業務について検討し、改善を行っています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者アンケートを含め、頂いたご意見やご要望を職員全体で把握し、改善に向けて取り組んでいます。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価と保護者向けアンケートの結果を集計し、評価や改善内容をホームページにて公表、事業所廊下に掲示しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		第三者による外部評価を受審しています。受審後は、結果等をホームページにて公表しています。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		新人職員については毎月1回、その他の職員についても定期的に外部等の研修に参加したり、事業所内研修を行ったりすることで、職員の知識や支援スキル向上に繋がるよう取り組んでいます。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に1回、モニタリング面談を行い、現在の子どもや保護者のニーズの課題の把握、分析を行った上で児童発達支援計画を作成しています。	
	⑩	子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人で作成している標準化されたアセスメントツールを使用しています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月案作成の担当を決めています。担当を中心に、毎月の活動の内容や方向性を検討できるよう努めています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		以前の月案を確認し、活動内容が固定化しないように工夫を行っています。毎月、新しい活動内容の提案を行っています。	利用者の取り組みたい活動を取り入れていけるよう努めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日、休日、長期休暇それぞれ課題を設定しています。必要に応じて宿題や各自興味のある活動に取り組んだり、リラックスできる時間を取り入れたりしています。	

適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもさんの状況に応じて個別活動・集団活動を組み合わせ、計画の作成を行い、定期的に見直しを行っています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員間で日課計画案を確認しながら、支援内容、役割分担、注意等について確認を行っています。	また、朝礼や打ち合わせにて前日にあった事故報告やヒヤリハット、気づいた点や改善点について確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎終了後に振り返りを行い、その日の気づきやご家族からの相談等、事故報告やヒヤリハット等について共有を行い、内容をケース記録にて記録を行っています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		子どもさんの様子や支援内容を記録することで、検証する際に活用できるようにしています。また、記録の記入の仕方をマニュアルで統一し、各職員確認しています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	利用者や保護者と共通認識を持ち、的確な状況把握ができるよう職員の面談技術の向上に努めています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで行っている	○		活動プログラムを作成する際、認知、運動、感覚、音楽、社会スキルトレーニング等の基本活動を複数組み合わせ提供できるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者と担当者が出席し、記録に残し、情報共有を行っています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校の年間計画や行事予定等は適宜情報提供されています。また下校時刻の変更等については保護者を通して送迎時や電話連絡にて行っています。送迎時にトラブルが発生した際には保護者や事業所と連絡を取り合い確認を行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な子どもさんは現在通所しておりませんが、かかりつけ医や主治医等を把握し、緊急時には迅速に対応できるよう職員間で情報共有を図っています。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援事業所やご家族を通して、情報共有と相互理解に努めています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		つなぎシートを作成し、保護者や関係機関への情報提供ができるようにしています。また必要に応じて移行支援会議等を行っています。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		地域連絡会等、児童発達支援センターが主催する研修に参加しています。	必要に応じて児童発達支援センター等と連携し、必要に応じて助言やアドバイスを受けています。

	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	コロナウイルス対策のため、実施しておりません。	コロナウイルスの影響もあり、外に出る機会が減ってしまい交流する機会もありませんでした。今後は地域の子どもと交流できる機会を検討していきます。
	②⑦	(地域自立支援)協議会などへ積極的に参加している	○		法人代表が出席しており会議等で内容を報告し、職員への周知を行っています。	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の連絡帳や面談時を通して子どもの様子や課題について共有できるよう努めています。月案に前月の活動の様子を写真に掲載しています。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	ペアレント・トレーニングは実施できておりません。必要に応じ、面談にて保護者と支援方法や対応について一緒に検討しています。	
保護者への説明責任	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際、運営規定や重要事項、利用者負担金等の説明を行っています。また、変更等があった際には、ご家族に文書にてお伝えし、安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳や送迎時、面談時に悩み等の聞き取りもしています。その他にも電話等でも相談を受け付け、アドバイスや助言を行っています。	いつでもどの職員にでも安心して相談できるように職員一覧を掲示しています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	感染症対策のため実施できておりません。感染症などの状況にもよりますが、今後検討していきたいと思っています。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付担当者や解決責任者、第三者委員を設置し、事業所内に掲示しています。また、苦情があった際には対応マニュアルに基づき迅速かつ適切に対応できるようにしています。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		法人の広報誌や、事業所の月案や献立を定期的に発行することで、活動内容の周知を行っています。また、ホームページにて活動の様子を情報発信を行っています。	連絡アプリを通して月案や献立の配布を行っています。欠席、早退、遅刻等の連絡もアプリにて行っています。
	③⑮	個人情報に十分注意している	○		個人情報管理マニュアルを整備し全職員への周知・管理の徹底を行っています。また、契約時に個人情報取り扱いについての説明を行い、承諾を得るようにしています。	個人情報に関わる書類については鍵付きのキャビネットにて保管を行っています。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		1日の流れカードや写真、絵カードを使用して視覚的構造化を図っています。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナウイルスの影響で地域の方を招待することはできておりませんが、事業所(交流サロン)の開放等を行っています。	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		それぞれマニュアルを策定し、研修等で職員へ周知しています。	また、事業所の玄関に掲示し、保護者の皆様がいつでも閲覧できるようにしています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を毎月1回と非常災害時や不審者対策訓練等の訓練を実施することで、実際の場面に備えています。	地震、火災、水害、不審者訓練等様々な場面を想定して訓練を行っています。また、防災リュックを準備し避難する際には持ち出せるようにしています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		人権擁護ハンドブックの活用や人権擁護委員会の取り組みとしてチェックリスト、意識調査を実施しています。事業所内研修の中で普段の支援の中で疑問に思うことを相談し合う機会を設けています。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、対象となる子どもはおりませんが、身体拘束マニュアルや同意書を整備し、適切に対応できるようにしています。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		面談時の際に保護者へ確認を行い、必要に応じて医師からの指示書を提出してもらうようお願いしています。	現在、医師の指示書まで必要なアレルギーの子どもはおりませんが、必要に応じて確認を行っていきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してる	○		報告書を作成・回覧し、具体的な改善策を立て、ルール化を図っています。事業所内研修の中でKYT訓練を行い、事故報告、ヒヤリハットの振り返りを行っています。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 2月 1日

事業所名 サニーキッズ

保護者等数（児童数） 22 回収数 16 割合 72 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	3				・ 活動内容や状況に応じて個別活動室等を使用しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		3	・ 8月で退職された職員がいたが、その後配置数の変更があったのか、スタッフが足りているのか分からない。	・ ご心配をおかけし、申し訳ありません。設置基準に適した職員数を配置しております。職員間で連携を図り、丁寧な支援を行って参ります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	3		2	・ 設置されているが、実際使ってみると実用しにくいと感じました。	・ ご使用される中でご不便を感じる箇所について、いつでもご相談ください。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画※1</u> が作成されているか	16					
	⑤	<u>活動プログラム※2</u> が固定化しないよう工夫されているか	15	1				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	6	4	4	・ コロナ感染対策のため	・ 現在は、実施しておりませんが、状況を見ながら検討していきます。
保護者	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	2		1		・ 契約時に、利用者負担等について説明を行っています。また、改訂時も同様に文書、口頭にて説明を行っています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16					
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16				・ いつも子どもに寄り添っていたき、ありがとうございます。	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4	7	2	・ コロナ禍では難しいと思う。	・ 現在は、実施しておりませんが状況に応じて検討していきます。

ハの説明等	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	1	2	・ 相談・苦情の受付窓口を設置しております。何かありましたらいつでも職員へご相談ください。また、1階にて意見箱も設置しておりますので、ご利用ください。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	2			・ 子どもたちへは視覚的な情報を取り入れながら分かりやすい説明をするよう配慮しています。保護者とは、面談や連絡帳、送迎時にてご家庭や学校での様子をお聞きし、事業所での支援、様子をお伝えしています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14			2	・ 毎月の月案楽しみにしています。給食の写真も載せていただき、毎回美味しそうだなと見ております。 ・ 常盤会ホームページにて活動の様子や自己評価等の結果について発信しています。また、月に1度月案にて活動プログラムや活動の様子を掲載しています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	15	1			・ 契約時に確認させていただいた個人情報の取り扱いについての書類に基づき、対応しています。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	3			・ 左記のマニュアル等は策定をしています。危機管理マニュアルについては廊下にて掲示しておりますのでいつでもご覧ください。感染症等の情報についてはその都度、保護者へ連絡アプリや口頭にて情報提供しています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1		1	・ 毎月水害、地震、火災、不審者訓練等様々な場面を想定し、避難訓練を行っています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	16				
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	2			・ より満足していただけるよう努力していきます。

※1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がいの特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。